

令和元年6月8日(土) 日本海新聞掲載記事

『いのちの講演会』(6月6日開催)



講演中に生徒と触れ合い、笑いを誘うレモンさん(右)

「夢変わってもあきらめない」

幸せのこつ 熱く

青谷高(鳥取市青谷町)で司会を務めるレモンこじっている人に向け、命の青谷)で6日、障害者をと山本シュウさんの講演 大切さや幸せを感じるこテーマにした情報バラエ 会が開かれた。生きるこつを熱く訴え、生徒や保ティー番組「バリバラ」とに息苦しさや不安を感じ 護者ら約280人が聞き

障害者テーマ
番組の司会者

レモンさん、青谷高で講演

入った。
大きなかぶり物と蛍光色の服装で生徒の視線を集めたレモンさんは、上手なコミュニケーション法として「人は誰しも、『誰か私のこと分かって』と心の中で叫んでいる。人は自分のことを理解してくれる人が好き。まずは相手の話を聞くことから」とアドバイス。夢の持ち方について「途中で夢破れても、夢が変わってもかまわない。夢に向かうための自分の『エンジン』はいくらでも積み替えられる。あきらめないことが大切」と訴えた。2年の入江友浩さん(17)は「見た目にインパクトがあって最初はすごい人が来たと思ったけど、言葉の一つ一つが分かりやすくて胸に刺さった。周りの人に感謝して生きていきたい」と語った。(西山恭平)